

3月 4日 | 初摘み 市内で一番乗り

おおつかさとし
大塚聡さんのハウス茶園（阪本）で、周辺農家の主婦など15人が参加し、新茶の初摘みが行われました。

品種は、コクのある味わいが特徴の「あさつゆ」。特に初摘みの葉は「おおほし大走り新茶」と呼ばれ、露地物より1カ月半ほど早く収穫の時期を迎えます。大塚さんが「冬場に天候に恵まれ、力強い新芽が出てきた」と語るように、みずみずしい新芽がハウスを埋め尽くしていました。



3月 28日 | 紅紫色の「春の花便り」

牧之原公園で、春の訪れを告げる市指定天然記念物「カタクリ」が紅紫色の花を咲かせました。

カタクリは、山地や丘陵に群生する多年草で、長さ5cmほどの下向きの花を付けます。園内には、約1万株が自生し、見頃は3月下旬から4月上旬までの2週間程度。この日は全体で三分咲きほどでしたが、心待ちにしていた来訪者の楽しむ姿が見られました。

3月 21日 | 池を囲んで 真剣勝負

清流と山々に囲まれた人気の釣り堀「やまめ平（笹間下）」で、「オープン釣り大会」が春分の日に開催されました。

大会には、市内外から家族連れや釣りファンなど、約130人の^{たいこうぼう}太公望（釣り好き）が参加。開始の合図と同時に、6カ所ある釣り池の至るところで竿がしなり、ヤマメが次々と釣り上がりました。同施設では、ヤマメのつかみ取りやバーベキューも楽しめます。





3月23日 | 10文字に込めた愛情

おび通り南ステージで「第10回愛するあなたへの悪口コンテスト」表彰式が行われました。

大賞作に選ばれた作品は、長谷川大さん（藤枝市）の「人參^{はせがわだい}だけの金平ごぼう」。手抜き料理にさえ愛情を感じる若者の清々しさが、高く評価されました。また、入選作品の発表に合わせて披露された金谷高校書道部による書は、会場に訪れた人たちを、一層楽しませてくれました。

3月11日 | 心をつなぐ虹の架け橋

市役所本庁舎1階ロビーで、授産製品販売コーナーの愛称発表式が開かれました。

今年1月にオープンして以来、人気を博している同コーナーの愛称は、製品購入者の人気投票によって「にじいろ市場」に決定。愛称発表の後には、投票者の中から選ばれた持塚^{もちづか}さんに、お勧め商品詰め合わせセットが贈られるなど、大変なにぎわいを見せました。



しまだトピックス

「島田髷まつり」優秀賞に輝く



（財）地域活性化センター主催「第18回ふるさとイベント大賞」で、島田髷まつりが優秀賞を受賞。3月5日、島田髷まつり保存会が表彰されました。

同大賞には、全国各地から169件のイベントがエントリー。髷まつりは、地域特有の歴史や技術を、長年にわたり伝承し続けている点で評価を得ました。今年の髷まつりが、一層盛り上がるのが期待されます。